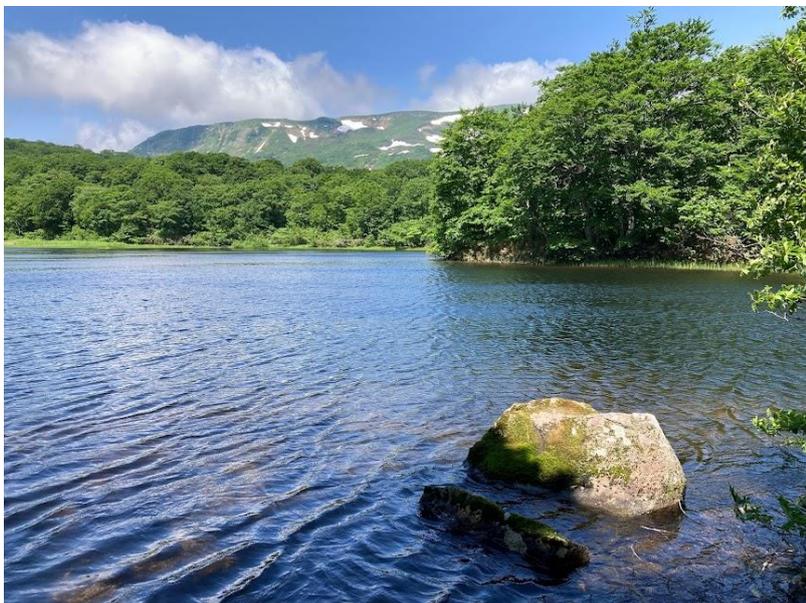


東北・焼石岳

T野

2023年6月17日～18日

メンバー： T野・I崎・T村m・T村e・T中m・T山・N谷・E居



「焼け石に水」ということわざがある。焼石岳はまさしく、このことわざ通りの山だった！！「意味が全く違うだろう！！」という声もあるが・・・、焼石岳は良くいえば瑞々しい山、悪くいえばグチョグチョの山である。まあ、花名山にはありがちなのだが・・・。そんなことから、地元の登山者は長靴で登っている人が多い。東京を離れて13年、すっかり東北人となったEちゃんも今回は長靴で参戦してきた。確かに登山靴だと、歩くのにかなり気を使いそうだ。油断して深みにはまると靴下までビショビショになってしまう。そこで、今回、僕の足回りはラバーの沢靴＋ウエットソックスという沢登りスタイルをチョイスした。水流やぬかるみを気にせずバシャバシャ歩いて、行動が終われば、サクッと着替えてウールのソックスとクロックスのサンダルといういでたちである。これは結構、焼石岳には有効である。普段から沢登りをしている僕にとっては、

足が濡れることには不快感はない。今回、メンバーの足回りは様々、皆、初心者ではないので「自己責任で好きにやってくれー！！」という感じである。

■写真上 中沼と横岳。

■写真中 景色が開けて気持ちがいい！！

■写真下 コバイケイソウと中沼



ところで、当初、予報はまずまずの好天が期待できたのだが、なぜか青森と秋田の間に天気図には現れない隠れた前線ができたとかで予報が変わり、日曜日が絶望的になった。さらに土曜日も麓の天気は良いものの、山は風が強く、寒気の影響もあり天気も不安定。天クラもCということだ。「聞いてないよ!!」といっても後の祭り、結局、多少でも可能性がある土曜日のうちに山頂周辺を周遊することに直前で変更した。

6/17

8時に水沢市内のセブンで弘前から来るEちゃんと同流、9時前に中沼登山口に車3台で到着するが、この時期、焼石岳は花の最盛期で、雨天でも駐車場が満杯になる大人気の山である。案の定、駐車場は満車で車を停められそうな場所はない。諦めかけたところでこの駐車場の管理人様が登場!!「せっかく遠方からきてくれたのだから何とかしようではないか!!」と駐車場よりさらに奥にあるスペースを提供してくれて3台とも何とか停めることができた。管理人様に感謝!!である。

■写真上左と中左
ハクサンチドリと同じくハクサンチドリの白色。

■写真上右 リュウキンカ

■写真中右 タニウツギ

■写真中右 カラマツソウ

■写真下 上沼と焼石連山

9:15に登山開始、最初から登山道は瑞々し



い（グチヨグチヨだ）。歩き始めから中沼までが一番の急登区間。30分も頑張ると思ったより大きな中沼が美しい姿を現す。バックにはまだ残雪豊富な横岳がおだやかな山容を横たえてい



て、いやが応にも気分が盛り上がってくる。この辺りから花々が目を楽しませてくれ、寝不足気味の目も覚めてくる。まずはピンクのタニウツギ、湖畔の湿地にはハクサンチドリ、中には白色のレアものもある。さ



らに、コバイケイソウやカラマツソウ、中沼湖畔を歩き沢沿いに緩やかに登ると上沼だ。ここから上にはところどころに雪渓が残り、ミズバショウやリュウキンカも健在、ムラサキヤシオ



も少し残っている。そうこうしているうちにシラネアオイの大柄な薄紫色が登山道沿いを彩る、銀明水近くにはショウジョウバカマが散見、おおーサンカヨウも白い可憐な姿を見せてくれているではないか！！明日、雨が降ったら「クリスタルサンカヨウ」が見られるかもしれない。・・・と、ここまで、僕の花の知識を総動員してさらけ出してしまったので、今後の報告で息切れするのが心配である。

- 写真上左 シラネアオイ
- 写真上右 雪渓とミズバショウ
- 写真中左 ベニバナイチゴ
- 写真中右 ショウジョウバカマ
- 写真下左 ヒメコザクラ
- 写真下右 サンカヨウ

銀明水の湧き水は半端なく美味しい。ただ、冷たすぎてプラティパスに水を入れるのが拷問、1本入れただけで指が死んだ。小屋に余計な荷物をデポして山頂に向けて出発。この辺りから花の種類も変わり高山特有の花々のお出ましである。まずは、雪渓のたもとにヒメコザクラの群落が可憐な花々を咲かせている。似たような花だが葉っぱが違うユキワレコザクラも似たような感じの場所に咲きほこっている。この時は同じ花だと思ったが、後で調べてみたら違う花であった。また、下を向いていて写真が撮りにくいが、ベニバナイチゴも少しお疲れ気味に深紅の花を咲かせている。そしていよいよ姥子平から東焼石岳にかけて焼石岳最大の花畑となる。真っ白なハクサンイチゲの大群落が登場！！淡い黄色のチングルマも、さらに淡いピンクのイ



ワカガミ、濃いピンクのミヤマシオガマ・・・！！これらの花々が、小川がサラサラ流れる大草原に宝石を散りばめたように咲き誇る！！まさに楽園である。・・・ただし、風が強くなければ・・・。今回は強風で花々は暴れて写真がうまく撮れず、強風ゆえ、のんびり休むこともままならぬ。仕方がないので歩き続けるが、ホントはのんびりしたいところであった。

■写真上左 チングルマ

■写真上右 イワカガミ

■写真中左 ハクサンイチゲ

■写真中右 ミヤマシオガマ

■写真下 ここからお花畑

■写真下 お花畑を満喫！！



東焼石方面の花畑を楽しみ、南本内岳方面に歩き、焼石岳には最後に登る。南本内岳から焼石岳の登山道はわかりにくい場所もありルーファイは慎重に行いたい。焼石岳山頂も景色はなく、強風が吹き荒れているので早々に撤退。下りも花々を愛でながらのんびり歩く。同ルートを下降したが、飽きることは全くなかった。寝不足で、初日はのんびりしたいと思っていたが、あとで考えるとホントにこの日に山頂に登っておいて良かった。



銀明水に着いたら雪渓でキンキンに冷やしたビールが待っていてくれた。小屋に落ち着けば夕餉の準備である。T山さんが途中の蕨で採取した根曲がり竹は茹でて素材の味を大事にしたいので、シンプルに味噌か塩で食べる。具たくさんカレーも美味。カレーのルーは辛いのが苦手なmさんチョイスだったが美味し



かった。後半戦は、日本酒をチビチビ、さらにEちゃんからワインのア裾分けをいただきいい気分のうちに爆睡・・・。

■コースタイム

中沼登山口 (9:15) ~ (9:45) 中沼 ~ (10:25) 上沼 ~ (11:20) 銀明水 (11:45) ~ (12:55) 東焼石岳方面分岐 ~ (13:16) 南本内岳方面分岐 ~ (13:45) 焼石岳方面分岐 ~ (14:25) 焼石岳 (14:40) ~ (16:00) 銀明水小屋



■写真上 焼石岳山頂！！

■写真下 銀明水小屋

6/18

今日は降りるだけなのでのんびり起きて9時ころ降りるつもりだったが、今にも雨が落ちてきそう。mさんが雨雲レーダーで近づいてきている雨雲を確認、「10時ころには降り始めるのでとっとと降りよう！！」というので、助言に従いサクサク準備して7時ころ小屋を出発。最後雨雲に追いつかれたがそれほど濡れないうちに車に戻れた。温

泉はひめかゆの湯は10時からで45分も待たねばならないので国見温泉まで走り10時ジャストの一番風呂をいただく。ひめかゆの湯同様に独特の石炭臭がする良いお湯だった(¥500)。さらに、混む前の11時に焼肉専門店「やまなか屋」でカルビー・牛タン・冷麺を大人食い。早い時間に帰路についたので大河ドラマに間に合った。

ということで、今回もメンバーの皆さん、楽しませていただきました！！また、宜しくお願いいたします！！